令和４年度（2022 年度）第２回公立大学法人熊本県立大学経営会議
議　　事　　録

１　日　時：令和４年（2022 年）10 月 19 日（水）午後２時～午後２時 27 分
　　場　所：公立大学法人熊本県立大学大会議室
　　出　席：委員（理事長）　　　　　　白石　隆
　　　　　　委員（副理事長（学長））堤　裕昭
　　　　　　委員（理事（事務局長））倉光　麻里子
　　　　　　委員（理事）　　　　　　本松　賢
　　　　　　委員　　　　　　　　　　横田　桂子
　　　　　　委員　　　　　　　　　　古荘　文子
　　　　　　委員　　　　　　　　　　守田　憲史※
　　　　　　理事（副学長）　　　　　鈴木　元　＊オブザーバー
　　　　　　監事　　　　　　　　　　本田　悟士
　　※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第３条第１項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。
　　欠　席：委員　　　　　　　　　　櫻井　一郎
　　　　　　監事　　　　　　　　　　吉川　榮一
　　事務局：川元事務局次長、三隅教務入試課長、槇原学生支援課長、松永企画調整室長、二宮総務課長、犬塚地域・研究連携センター事務長、坂本デジタルイノベーション推進センター事務長、宮本国際教育交流センター事務長・図書館事務長、井上監査室長、井総務課財務班長、新川総務課総務班参事、井上総務課総務班参事、松本企画調整室参事

２　開会（進行：川元事務局次長）

３　理事長あいさつ

４　議題（議長：白石理事長）
（１）審議事項
①教員の採用に係る枠取りについて（総合管理学部「情報工学」）
　学長から、資料１に基づき、総合管理学部「情報工学」の教員について、「令和４年度地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択され、ＤＸ教育を推進していくため、令和５年(2023 年)４月１日採用予定として枠取りを行いたいとの説明があった。
　理事長から、SPARC について資料４を見ていただくとわかると思うが、本学と熊本大学の協力で始まるもの。熊本大学が半導体のエンジニアを育成するのに対し、本学はこれからの大量のデータを扱う社会の中で、行政や経営においてそのデータを使えるような人材を育てたいという考え。データサイエンスを強化するということでこの人事に至ったとの補足があった。

　審議の結果、案のとおり承認された。

（２）報告事項

①令和 3 年度業務実績評価及び第 3 期中期目標期間中間評価について

事務局から、資料 2 に基づき、熊本県公立大学法人評価委員会から通知のあった「令和 3 年度業務実績評価書」及び「第 3 期中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の機関における業務実績評価書」の概要について報告があった。

②令和 3 年度財務諸表及び剰余金使途の承認について

事務局から、資料 3 に基づき、令和 3 年度財務諸表及び令和 3 年度に生じた剰余金の使途の承認について報告があった。

③文部科学省補助事業「地域活性化人材育成事業～SPARC～」の採択について

事務局から、資料 4 に基づき、文部科学省補助事業「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択されたこと、10 月 13 日に蒲島知事、熊本大学、本学で記者会見を行なったことについて報告があった。

５　その他

◯　次回経営会議は、令和 4 年（2022 年）12 月 21 日（水）午後 2 時開始予定であることを確認した。

６　閉会

以　上